

令和8年度 宮城県多賀城高等学校 S S授業公開
S S 先端研究講話、課題研究中間発表会、“実働型の科学的探究活動” 研修会 開催要項

- 1 目 的 S S 先端研究講話と“実働型の科学的探究活動”研修会に加えて、課題研究中間発表会と通常授業を公開することで、S S H指定校の取り組みを報告し、成果を普及する。
- 2 対 象 小学校、中学校及び高等学校の教職員、教育関係者等
- 3 日 時 令和8年12月15日（火） 8：45～16：30
- 4 場 所 宮城県多賀城高等学校 大会議室、iRis Hall、各教室等
- 5 日 程

時 間	内 容	実施場所
8：30～ 随時	受付	職員玄関
8：45～12：35	通常授業公開（1時間目～4時間目）※1・2学年	各教室
13：00～13：10	開会行事	大会議室
13：20～15：10 ※講義中も出入り自由です。	○S S 先端研究講話（外部講師による講話とワークショップ）	
	対象：災害科学科（1学年40名） 講師：東北大学災害科学国際研究所（4名来校） (1)岡田 悠太郎氏（上廣防災学寄附研究部門 助教） 題目：『揺れない地震』の地震学 入門編：スロースリップってなんですか？ (2)稲葉 洋平氏（災害医学研究部門 災害放射線医学分野 講師） 題目：災害医療の最前線と災害放射線医学研究 (3)新家 杏奈氏（イオン防災環境都市創生共同研究部門 助教） 題目：『逃げる』を科学する―災害情報と避難行動― (4)佐藤 健氏（防災実践推進部門 防災教育実践学分野 教授） 題目：地震被害想定調査結果のデータを価値ある情報に昇華させるアイデア 内容：専門分野の先端研究紹介と課題研究のテーマ設定に関するワークショップ	第3講義室 1年7組教室 （4階）
	対象：普通科（1学年240名） 講師：松下ステファン悠氏（東北大学大学院 准教授） 内容：アントレプレナーシップの観点をもとにしたテーマ設定に関するワークショップ	iRis Hall
	○課題研究中間発表会（ポスター発表）	
	対象：2学年普通科・災害科学科（280名） 内容：課題研究（70班）のポスターによる研究発表	2学年教室他 （3階）
15：30～16：20	○“実働型の科学的探究活動”研修会	
	内容：本校の事例紹介と参加教員との情報交換 ① 外部連携と課題研究の事例紹介 ② 巡検・フィールドワークの報告（生徒発表） ③ テーマ別分科会での情報交換 A：外部連携の進め方 B：防災教育と避難訓練 C：授業と探究活動の接続	iRis Hall
16：20～16：30	閉会行事	iRis Hall

- 6 申込み 複数のイベントについて一括で受付をします。
右の二次元コードまたはURLの申込みフォームより
11月27日(金)までにお申し込みください。
URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/dMBAEJ26eV>



- 7 その他
- ・本事業への参加費は、無料です。
 - ・受付は、職員玄関で行います。
 - ・自家用車で来校される方は、iRis Hall 前の駐車場をご利用ください。
 - ・午前中の授業公開からご参加の先生方の昼食時は、大会議室をご利用ください。
 - ・写真、動画の撮影はご遠慮ください。

宮城県多賀城高等学校
主幹教諭 村田 淳 (SSH探究部)
宮城県多賀城市笠神二丁目17番1号
電 話 022-366-1225
FAX 022-366-1226